

登録コード	E4250901	開講年度	2026			
授業科目	教育内容・方法論B				担当教員	安達 仁美
英文授業名	Introduction to Curriculum and Instruction B				副担当	森下 孟・佐藤 和紀
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	金曜・1時限	対象学生
講義室	教育図書2階講義室		授業形態	講義	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素			⇄	【授業の達成目標】	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	幼・小・中・高等学校生時代の自身の経験をもとに，学習者の視点から教師の視点にシフトすることを通じて，各発達段階に応じた教育内容や教育方法を，特定の教科などの枠に捉われず，学校全体のカリキュラムのなかに位置付けて学ぶ。この授業を通じて，授業設計・指導法の基礎的知識や技術を身につける。					
(5)授業計画	第1回：ガイダンス 第2回：教育方法に関わる基礎的理論 第3回：探究的な学びの在り方 第4回：子どもたちに育みたい資質・能力 第5回：教育目標と授業設計 第6回：授業研究と教師の力量形成 第7回：確認テストとまとめ・授業アンケート ※ 第2回～第6回までの内容は，順序が変更となることがある。 ※～21Eの学生は、本授業と「情報通信技術を活用した教育の理論及び方法B」の成績と総合して「E4250900 教育内容・方法論B」として成績（2単位）を判定します。 ※同時時間帯後半の「情報通信技術を活用した教育の理論及び方法B」を合わせて受講すること。					
(6)成績評価の方法	・授業のねらいの到達度を測る毎回の課題（30％），確認テスト（70％）の成績を総合的に評価する。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀，89-80% 優，79-70% 良，69-60% 可，59%以下 不可。					
(7)成績評価の基準	・卓越している…学校教育における授業構成要素である計画，目標，内容，方法，評価等について理解している。また，義務教育段階における効果的な教育方法やICTを活用した授業技術を修得している。さらに，授業の内容をもとに根拠を提示しながら教員を感心させる見解を示すことができる。 ・かなり上である…学校教育における授業構成要素である計画，目標，内容，方法，評価等について理解している。また，義務教育段階における効果的な教育方法やICTを活用した授業技術を修得している。さらに，授業の内容をもとに根拠を示しながら自分の意見を示すことができる。 ・やや上にある…学校教育における授業構成要素である計画，目標，内容，方法，評価等について理解している。義務教育段階における効果的な教育方法やICTを活用した授業技術について理解している。さらに，授業の内容をもとに自分の意見を示すことができる。 ・水準にある…学校教育における授業構成要素である計画，目標，内容，方法，評価等について知っている。義務教育段階における効果的な教育方法やICTを活用した授業技術について関心を深めている。					
(8)事前事後学習の内容	事前学習では，eALPS上にアップロードされた授業資料，または前時に配布した資料を通して予習を行う。事後学習では，授業内で示した課題に取り組み，eALPS上の指定したフォーラムに期日までに自分の意見を書きこむこと。					
(9)履修上の注意	・授業に関する連絡はeALPSに掲載する。授業前によく確認すること。 ・講義内では自分の考えを述べたり，書いたりする場を多く設定するので，常に自分なりの問題意識を持って授業に臨んで欲しい。また，グループ活動を積極的行うため，遅刻や欠席のないように心がけること。 ・教育実習に向けて準備を進めることも目標のひとつとしているため，教師になることに対する高い意識を持って毎回の授業に臨むこと。					
(10)質問，相談への対応及び連絡先	・北校舎N308 安達研究室 E-mail：adachi@shinshu-u.ac.jp オフィスアワー：（前期）メール予約で随時対応 （後期）メール予約で随時対応					
【教科書】	・幼稚園教育要領 ・小学校学習指導要領 ・中学校学習指導要領 ・高等学校学習指導要領					
【参考文献】	・授業中に適宜紹介する					